

事業番号	09 04 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	果樹振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課	
		実施期間	H19 ～	E-mail	enchiku @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

・本県の果樹生産は、恵まれた気候や立地条件、高い技術を活かし、りんご「シナリップ」やぶどう「クイーンルージュ®」などポテンシャルの高い県オリジナル品種を中心とした生産が進んでいる。
・高齢化や担い手の減少から、5年間で樹園地面積は5%、販売目的の果樹経営体数は約2割減少しており、生産基盤を維持・強化し、産地力の向上を図る必要がある。

2 事業目的

県オリジナル品種の品質向上や産地基盤の強化を図り、「日本一のくだもの王国づくり」を目指す
--

3 事業目的を達成するための取組

①果実産出額の増加	・県オリジナル品種の単収増や栽培技術の平準化等を図るため、技術者を対象とした現地研修会を実施
	・果樹生産者の栽培意欲の減退を防ぐ、農作物盗難防止月間の実施
	・果樹産地の生産力を強化するため、基盤整備事業等の実施
②早期成園化・高単収等が可能なりんご高密度植栽培の普及推進	・施肥管理や凍害対策等の栽培技術の平準化を図るため、技術者を対象とした現地研修会の実施
	・栽培者等の技術力向上を図るため、りんご高密度植優良事例巡回調査の実施
	・更なる需要拡大を図る、大都市圏における「りんご三兄弟®」のトップセールスの実施
③ぶどう「クイーンルージュ®」栽培面積の拡大	・単収増や栽培技術の平準化等を図る、技術者向け現地研修会の実施
	・栽培者等の生産意欲の高揚を図る、種無し・皮ごとぶどうフォーラムの実施
	・更なる需要拡大を図る、大都市圏における「ぶどう三姉妹®」のトップセールスの実施



りんご高密度植栽培



ぶどう「クイーンルージュ®」

4 成果指標

（推移の凡例 ↑：改善 ↓：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	果実産出額	億円	904	1,000	↗	1,031 (概推計値)	↗	908	達成	第4期長野県食と農業農村振興計画において5年以内に945億円とすることが目標であり、令和6年は908億円を目標とする	
②	りんご高密度植栽培面積	ha	603	621	↗	635	↗	635	達成	第4期長野県食と農業農村振興計画において5年以内に680haとすることが目標であり、令和6年は635haを目標とする	
③	ぶどう「クイーンルージュ®」栽培面積	ha	159	181	↗	200	↗	185	達成	長野県果樹振興計画にて令和12年に250haを目標としており、2023長野県ぶどうフォーラムでは令和9年に224haにするとしているため、令和6年は185haを目標とする	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	☆農業農村総生産額	億円	2022 (R4)	3,719	2023 (R5)	3,911	2024 (R6)	4,346 (概推計値)	2027 (R9)	3,700
2-1②	稼ぐ力とブランド力の向上	果実産出額	億円	2022 (R4)	904	2023 (R5)	1,000	2024 (R6)	1,031 (概推計値)	2027 (R9)	945

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	0	4,860	0	4,860	1,989	3,345	2.5
R5年度	0	4,021	0	4,021	2,220	2,382	2.5
R4年度	0	2,807	0	2,807	1,872	1,971	2.5

事業番号	09 04 02	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）	□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	果樹振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課	

7 主な取組実績と成果

①果実産出額の増加

- ・技術者を対象にした現地研修会を実施し、県オリジナル品種の品質向上を図った。
 – 果樹栽培技術研修会の開催（11回）
- ・公用車による巡回やのぼり旗やチラシによる啓発を行う農作物盗難防止強化期間を実施し、盗難被害の抑止を図った。
- ・補助事業を活用した産地の基盤整備や改植の推進及び防霜ファンの設置支援により、果樹産地の生産力向上を図った。
 – 果樹棚等の整備（16.5ha）、防霜ファン設置面積（5.1ha）



農作物盗難防止強化期間の取組

②早期成園化・高単収等が可能なりんご高密度植栽培の普及推進

- ・高密度植栽培における災害対策や栽培技術の研修会を実施し、技術者の指導力向上を行い、栽培面積の増加につながった。
 – りんご高密度植栽培基礎セミナー（3回、88名）
 – 気象災害に強い果樹産地づくり研修会（1回、43名）
 – りんご高密度植優良事例巡回調査（1回）
- ・「りんご三兄弟®」のトップセールスの実施（1回）



りんご高密度植栽培基礎セミナー

③ぶどう「クイーンルージュ®」栽培面積の拡大

- ・新梢管理や房づくり等の栽培技術研修会を開催し、品質・単収の高位平準化を推進した。（2回、124名）
- ・「2024長野県ぶどうフォーラム」を開催し、栽培者等の生産意欲の高揚及び課題の意識統一を図った。（1回、298名）
- ・高品質な「クイーンルージュ®」の生産・出荷に向けて、直売所等での掲示用ポスターを配布した。（3,000部）
- ・醸造用ぶどう生産者の栽培技術向上に向けて、各地域での指導会を実施した。（7月～2月、6回）



直売所向け品質基準ポスター

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①	果実産出額	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	達成
栽培研修会やぶどうフォーラムの開催や農作物盗難防止の取組により、生産者の栽培意欲を高めるとともに、補助事業等により栽培に必要なぶどう棚の整備が進んだことで、R 6 年度もぶどうの栽培面積が増加しており、果実全体の産出額の目標値を上回った。							
指標 ②	りんご高密度植栽培面積	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	達成
果樹経営支援対策事業による改植の実施や気象災害に強い果樹産地づくり研修会等の開催により、高密度・新しい化栽培の導入が進み、目標値を達成した。							
指標 ③	ぶどう「クイーンルージュ®」栽培面積	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	達成
J Aなどの技術者向けの栽培研修会や長野県ぶどうフォーラムの開催により、生産者の栽培意欲を高め、栽培面積は前年の110%まで増加し、目標値を上回った。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・これまでの取組により、生産者意欲が高まり、りんご高密度植栽培面積やぶどう「クイーンルージュ®」の栽培面積が増加してきた一方で、近年の気候変動の影響を受け、着色不良や裂果など栽培上の課題も浮き彫りとなってきている。さらなる栽培面積の拡大を図っていくためには、これらの課題の解決が必須である。
- ・また、長期的な課題として、高齢化や担い手の減少により、5年間で樹園地面積は 6 %、販売目的の果樹経営体数は約20%減少していることから、果実産出額の増加に向けて、生産面積の減少が進むももなどの品目の生産基盤の維持・強化や産地力の向上を図る必要がある。

(2) 事業改善の方策

- りんご高密度植栽培やぶどう「クイーンルージュ®」の生産をより一層進めるため、安定生産に向けた技術向上や生産基盤の強化を進めるとともに、もも産地の若返りを図ることで、果実産出額を増加させ、産地力の向上を図る。
- ・果樹生産者の栽培意欲の減退を防ぐ農作物盗難防止強化期間の実施
- ・りんご高密度植栽培における施肥管理や凍害対策等の栽培技術の平準化を図る現地研修会の実施
- ・ぶどう「クイーンルージュ®」の単収増や栽培技術の平準化等を図る J A などの技術者向け現地研修会の実施
- ・生産者の所得向上が見込めるもも栽培の優良事例集の作成やフォーラムの開催

事業番号	09 04 02	細事業一覧（令和6年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	果樹振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課	

細事業 No.	細事業名			R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	信州果樹生産体制強化推進事業			688 千円	1,113 千円	2,229 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	りんご高密度植栽培推進強化対策事業	直接	高密度植栽培の高位平準化を推進するため、災害対策や栽培技術習得の研修会を実施 栽培技術研修会（3回、計88名）			
2	なし生産基盤強化対策事業	直接	新規就農者に対し、早期成園化や省力化が可能な樹体ジョイント仕立て栽培の導入を支援するため、栽培技術検討会等を実施 栽培技術検討会（2回、計143名）			
3	農作物盗難防止対策事業	直接	本県でも被害が報告されている農作物の盗難を抑止するため、農作物盗難防止強化期間を設け、啓発活動を実施 農作物盗難防止強化期間（8月～11月）			

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
2	ワンツークイーン生産拡大推進事業		810 千円	1,033 千円	830 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	「クイーンルージュ®」 栽培技術普及・定着事業	直接	品質・単収の高位平準化を推進するため、新梢管理や房づくり等の栽培技術研修会を開催		
			栽培技術研修会（3回、124名）		
2	ぶどう生産者意欲向上事業	直接	栽培者の生産意欲の高揚を図るため、「2024長野県ぶどうフォーラム」を開催		
			ぶどうフォーラム実施回数（1回、298名）		
3	ぶどう三姉妹®認知度向上事業	直接	長野県産ぶどうの優位販売に資するため、生産者団体と連携して「クイーンルージュ®」等からなるぶどう三姉妹®のトップセールスを実施		
			トップセールス実施回数（1回）		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
3	地域に根ざしたワイン用ぶどう産地育成事業		－ 千円	236 千円	286 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	ワイン用ぶどう生産者の栽培技術向上支援事業	直接	就農まもない生産者の栽培技術向上に向け、地域特性や品種等を考慮した栽培研修会を各地で実施		
			地域別栽培研修会（6回）		
2	NAGANO WINE栽培情報プラットフォーム会員向け栽培経営発展推進事業	直接	NAGANO WINEプラットフォーム会員の栽培・経営発展を後押しするため、栽培に関する情報交換会を実施		
			情報交換会（2回、計245名）		